

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ミライト・ワン 上場取引所 東  
 コード番号 1417 URL <https://www.mirait-one.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 英宗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 三ツ矢 高章 (TEL) 03-6807-3124  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	412,102	3.8	17,482	44.2	19,023	53.4	11,101	95.1
2025年3月期第3四半期	396,845	15.4	12,122	144.0	12,399	113.0	5,691	501.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 12,150百万円( 73.4%) 2025年3月期第3四半期 7,005百万円( 60.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	124.67	—
2025年3月期第3四半期	62.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	540,050	271,985	48.7
2025年3月期	537,739	269,877	48.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 263,107百万円 2025年3月期 261,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2026年3月期	—	40.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	7.2	34,000	21.5	34,000	23.8	21,000	22.2	236.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	91,325,329株	2025年3月期	91,325,329株
2026年3月期3Q	2,659,414株	2025年3月期	1,614,653株
2026年3月期3Q	89,046,526株	2025年3月期3Q	90,952,712株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、監査等委員ではない取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は  
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期決算の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期決算の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期決算の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復傾向で推移しました。一方、米国の通商政策、物価上昇の継続による個人消費への影響、金融資本市場の変動等の影響など、引き続き注視する必要があります。

当社グループを取り巻く事業環境については、DX（デジタルトランスフォーメーション）や生成AIの普及等によるクラウドサービスやデータセンター需要の拡大が継続しております。

さらに、近年激甚化する自然災害等に対する防災、減災、国土強靱化が推進されております。

また、広域的な道路、上下水道といった複数自治体・多分野のインフラを群として捉えた群マネ（地域インフラ群再生戦略マネジメント）が進展しております。加えて、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた再生可能エネルギーの利用や水素の活用が期待されております。

こうしたなか、当社グループは、Purpose（存在意義）、Mission（社会的使命）のもと、従来の事業やサービスをしっかり育てながら、今後の成長分野を「みらいドメイン」と定め、街づくり・里づくり/企業DX・GX、グリーンエネルギー事業、ソフトウェア事業、グローバル事業の拡大などにグループのリソースを結集し一層の事業成長の加速を図り、未来の社会インフラを「創り・守る」、信頼ある企業グループであり続けるため、2030年に向けた事業ビジョンとして、『MIRAIT ONE Group Vision 2030』及び2026年度を最終年度とする5ヶ年の第5次中期経営計画を推進しています。

2025年度は、中期計画の達成に向けてグループの成長基盤を確立する年として、事業成長を支える人材成長戦略の推進とリスクマネジメントを始めとする経営基盤の継続的な強化により、データセンター関連事業のさらなる拡大や西武建設㈱、国際航業㈱との三位一体の事業シナジーなどによるトップラインの拡大に取り組んでまいります。

また、「超・通建」へ更なる成長に向けて、これまでM&Aなど事業拡大を図った「足し算」の連結経営から、各社・各カンパニーの事業間でのシナジーを生み出すために「掛け算」の連結経営を加速し、顧客志向へのシフトによる顧客価値の拡大や新規顧客開拓、㈱Y2Sの子会社化によるO&M（オペレーション&マネジメント）事業の拡大、さらに、急拡大するコンテナ型データセンタービジネスに取り組んでまいります。加えて、AI活用による抜本的業務変革をはじめとするデータインサイト経営の推進等による現場力・生産性の更なる向上にも取り組んでまいります。

当第3四半期における連結業績につきましては、環境・社会イノベーション事業では、土木・水道工事で受注増、電気工事で売上増となりました。ICTソリューション事業ではグローバル事業、物販で受注、売上増となりました。NTT事業では、モバイル工事、アクセス工事ともに受注、売上増となりました。マルチキャリア事業では、受注・売上ともに微減となりました。

以上の結果、

受注高	4,934億1千6百万円（前年同四半期比6.8%増）
売上高	4,121億2百万円（前年同四半期比3.8%増）
営業利益	174億8千2百万円（前年同四半期比44.2%増）
経常利益	190億2千3百万円（前年同四半期比53.4%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	111億1百万円（前年同四半期比95.1%増）

となりました。

(2) 当四半期決算の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、完成工事未収入金等の減少があったものの、未完工事支出金等や現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べて23億1千万円増加し5,400億5千万円となりました。

負債は、工事未払金等が減少したものの、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べて2億1百万円増加し2,680億6千4百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い71億7千4百万円や自己株式の取得30億2百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益111億1百万円の計上等により、前連結会計年度末に比べて21億8百万円増加し2,719億8千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は48.7%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

(3) 今後の見通し

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,475	64,432
受取手形・完成工事未収入金等	222,859	187,708
リース投資資産	6,383	6,605
未成工事支出金等	29,174	45,611
その他	9,548	14,592
貸倒引当金	△247	△238
流動資産合計	321,194	318,711
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	43,513	45,373
土地	36,762	36,827
建設仮勘定	2,519	3,163
その他(純額)	18,312	17,632
有形固定資産合計	101,109	102,996
無形固定資産		
顧客関連資産	32,105	30,600
のれん	37,585	36,303
ソフトウェア	5,631	5,280
ソフトウェア仮勘定	1,042	2,390
その他	217	227
無形固定資産合計	76,582	74,802
投資その他の資産		
投資有価証券	19,397	23,496
退職給付に係る資産	12,159	12,569
繰延税金資産	270	600
敷金及び保証金	3,272	3,436
その他	4,125	3,894
貸倒引当金	△372	△458
投資その他の資産合計	38,852	43,539
固定資産合計	216,544	221,338
資産合計	537,739	540,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	66,481	62,549
短期借入金	42,596	50,083
リース債務	4,463	4,567
未払法人税等	6,675	3,448
未成工事受入金	6,713	11,662
工事損失引当金	1,636	1,727
受注損失引当金	118	130
賞与引当金	10,962	6,092
役員賞与引当金	121	95
完成工事補償引当金	161	95
関係会社清算損失引当金	681	596
その他	20,371	19,238
流動負債合計	160,983	160,287
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	40,495	40,374
リース債務	9,937	9,707
繰延税金負債	5,706	6,389
再評価に係る繰延税金負債	28	28
役員退職慰労引当金	53	42
株式報酬引当金	529	491
退職給付に係る負債	17,594	18,330
資産除去債務	1,681	1,517
その他	852	894
固定負債合計	106,879	107,777
負債合計	267,862	268,064
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	40,155	40,159
利益剰余金	201,526	205,453
自己株式	△2,934	△5,789
株主資本合計	245,748	246,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,604	6,226
土地再評価差額金	△85	△85
為替換算調整勘定	6,927	5,146
退職給付に係る調整累計額	5,305	4,996
その他の包括利益累計額合計	15,753	16,284
非支配株主持分	8,375	8,878
純資産合計	269,877	271,985
負債純資産合計	537,739	540,050

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	396,845	412,102
売上原価	342,415	351,617
売上総利益	54,429	60,485
販売費及び一般管理費	42,307	43,003
営業利益	12,122	17,482
営業外収益		
受取利息	229	232
受取配当金	414	480
為替差益	—	1,002
持分法による投資利益	—	2
その他	689	579
営業外収益合計	1,333	2,296
営業外費用		
支払利息	433	645
持分法による投資損失	102	—
為替差損	183	—
その他	336	109
営業外費用合計	1,055	755
経常利益	12,399	19,023
特別利益		
固定資産売却益	627	21
投資有価証券売却益	878	334
補助金収入	—	51
その他	65	—
特別利益合計	1,570	407
特別損失		
固定資産売却損	18	5
固定資産除却損	125	76
関係会社清算損	1,449	70
投資有価証券評価損	88	18
訴訟関連損失	—	63
その他	57	61
特別損失合計	1,738	296
税金等調整前四半期純利益	12,231	19,134
法人税等	6,076	7,553
四半期純利益	6,155	11,581
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,691	11,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	463	480



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	2,661
為替換算調整勘定	890	△1,567
退職給付に係る調整額	111	△301
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△223
その他の包括利益合計	850	568
四半期包括利益	7,005	12,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,539	11,632
非支配株主に係る四半期包括利益	466	518

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	ミライト・ワン	ラントロビジョン	TTK	ソルコム	四国通建	西武建設	ミライト・ワン・システムズ	国際航業
売上高								
外部顧客への売上高	205,998	24,545	25,010	21,483	16,009	49,142	18,665	35,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,937	—	173	21	8	118	3,513	—
計	207,936	24,545	25,184	21,505	16,018	49,260	22,179	35,990
セグメント利益又は損失(△)	6,913	898	1,192	86	1,354	△120	1,401	796

	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注)2
売上高			
外部顧客への売上高	396,845	—	396,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,773	△5,773	—
計	402,619	△5,773	396,845
セグメント利益又は損失(△)	12,520	△398	12,122

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△398百万円には、退職給付の調整額△343百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	ミライト・ワン	ラントロビジョン	TTK	ソルコム	四国通建	西武建設	ミライト・ワン・システムズ	国際航業
売上高								
外部顧客への売上高	210,235	30,483	30,188	24,541	19,549	41,701	19,716	35,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,764	—	706	68	34	2,618	2,687	12
計	212,000	30,483	30,894	24,610	19,584	44,319	22,404	35,698
セグメント利益	9,392	1,862	2,107	43	1,687	494	1,392	968

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	412,102	—	412,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,892	△7,892	—
計	419,995	△7,892	412,102
セグメント利益	17,950	△468	17,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△468百万円には、退職給付の調整額△378百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当社普通株式1,139,900株を総額2,999百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が5,789百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,042百万円	8,673百万円
のれんの償却額	1,867	1,751
負ののれん償却額	△18	—